

あすなろ

令和7年6月25日
中津川市立川上小学校
学校だより 6月号

学校では学べないこと

校長 石川 斎

6月に入り、梅雨による雨の多さと夏の暑さを感じるようになりました。19・20日にやさか地区の小学校5年生による合同の宿泊研修を行いました。初日の19日は、今年度初めてと言ってもよいくらいの猛暑で標高が800m以上ある根の上高原も厳しい暑さになりました。熱中症を心配しておりましたが、児童は元気に他校の仲間とオリエンテーションやボート体験などの活動を楽しんでいました。

3校合同の宿泊研修ですが、川上小学校で言うと少人数（5人）の児童が40名ほどの大人数の中に入り、活動や生活をします。係の仕事を行うにしても、グループで活動を行うにしても、いつものように勝手知ったる仲間の中で行うわけではありません。こうした環境の中で、自分の思いや考えを伝え合いながら、そこにいる仲間と協力して活動を行うことが、5年生の成長につながります。はじめは、ぎこちなく会話をする場面も見られましたが、活動の中で、役割を変わったり、いっしょに相談したりする姿が見られるようになり、2日目の飯盒炊飯では、ごく自然な姿でグループ活動を行うようになっていました。

宿泊研修が始まる前は、他校の仲間と活動することに不安を感じていたことと思います。しかし、2日間、ともに活動し生活することで、その不安はなくなり、仲間が増えたこと、しっかり活動をやり切ったことに対する喜びを実感することができました。これは、学校の中には経験することができません。根の上高原の自然の中で活動したことも貴重な経験です。

本校は、学校の外で活動する場がたくさんあります。この1学期だけでも、1・2年生のお茶摘み体験、3・4年生のカワゲラウオッチング、5・6年生の田植え体験がありました。これらは、学校の外に出て、自然のすばらしさや人の営みについて、講師の方から教えていただくものばかりです。学校の中では決して学ぶことができないものばかりです。川上小学校が地域の中、地域の外で多様な活動を位置付けているのも、学校では学ぶことができない貴重な体験をするためです。これからも学校から出て学ぶ機会を大切にしていきたいと思っています。



田植えを体験しました(5・6年)

5/29(木) やさかファームの方々とともに、田植えを体験しました。子どもたちもこれまでの経験があり、想定していた時間よりも早く植え終えることができました。今年は、育苗ハウスの見学や肥料についても学びました。米作りを通して、川上の環境保全についても学んでいきます。



仲間を大切にするために

自分たちができること〈人権宣言〉

【1・2年】わるぐち、ぼうげんなし！

ぽかぽかことばをつかおう。

【3・4年】 みんな平どうに全校にやさしく声をかけ

みんなで楽しくすごそう

【５・６年】 みんなが楽しく遊べるようにする

人に言われたことを無視しない

みんなに平等に接します

悪口を言った人には注意します

誰もが気持ちよく過ごすためには、どうすればよい
か、自分たちの今の姿を見つめながら話し合いをしま
した。今後も折に触れ、自分の姿を見つめていきま
す。自分にも仲間にも強みや弱みがあります。そんな
ありのままの姿を認め合い、お互いを尊重し、どの子
も安心して学ぶことができる学校にしていきます。



カワゲラウオッチング(3・4年)

6/6（金）、12（木）の両日に渡り、川上川と壁沢川で、原久喜さん、市役所環境政策課の方々、興栄コンサルタントの方々とともに調査を行いました。子どもたちは、川の中の石をはぐりながら水生生物をたくさん捕え、分類した結果、どちらの川も「きれいな川」とわかりました。この川は、木曽川へ、そして海へとつながり、この川を守ることが下流の人々の生活を守ることに繋がっていることに気がしました。今後、自分たちが未来のためにできることを考えていきたいです。



〈お礼〉

PTA 親子奉仕作業におきましては、保護者、川上まちづくり協議会の皆様をはじめ、スケート場、壁沢川、プール周辺など前日までに草刈り等をしてくださった方々、多数の地域の方々にご協力いただき誠にありがとうございました。学校周辺が、大変美しくなりました。

また、13日(金)プール掃除におきましても度重なる変更の中、ご協力くださった保護者の皆様、誠にありがとうございます。